

下鴨神社・二条城など

世界遺産『古都京都の文化財』を守るための国際緊急署名

－開発による世界遺産破壊をやめさせるためにご協力ください－

ユネスコ世界遺産委員会

世界遺産センター所長 メヒチルト・ロスラー様

世界文化遺産「古都京都の文化財(京都市・宇治市・大津市)」がかつてない危機に直面しています。賀茂御祖神社(通称：下鴨神社)では、富裕層むけ共同住宅建設によるバッファゾーンの森の破壊が進んでいます。コアゾーンにおいても、大型倉庫建設やバス駐車場化により、森の破壊が進められようとしています。

二条城では、行政当局者自身がコアゾーンの樹木を大量に伐採し、貴重な連続した生垣を断ち切り、大型観光バス駐車場の建設を進めようとしています。

仁和寺のバッファゾーンでは、24時間営業のコンビニやガソリンスタンドの建設のための開発許可を京都市が認めていましたが、住民の反対運動によって事業者が断念するに至りました。

このように「古都京都の文化財」はかつてない危機に直面しており、それを守るべき行政当局者は、開発業者の要請を優先し、開発による世界遺産破壊に手を貸す立場をとっています。行政当局者自身が世界遺産破壊をすすめるケースさえもあります。私たちは、行政当局者に対し、世界遺産の原状回復と破壊をとめるための適正な措置を求めます。

私たちは世界遺産を守るために、行政当局者(政府文化庁、京都府、京都市)に対し、交渉、署名運動、訴訟などありとあらゆる手段で働きかけてきましたが、世界遺産破壊を食い止めるためには、国際社会の協力が必要と考え、新たな一歩を踏み出すこととなりました。

ユネスコ世界遺産委員会には、世界遺産条約及び関連規約に反する「古都京都の文化財」の破壊に対し警鐘をならし、行政当局者が世界遺産保護のための適正な措置をとるように勧告されることを求めます。

呼びかけ団体 元離宮二条城東側空間整備基本計画を考える住民の会、
糺の森未来の会、世界遺産下鴨神社・糺の森問題を考える市民の会

呼びかけ人(順不同) 鈴木重治(文化財保存全国協議会常任委員)、吉岡幸雄(染織史家)、米澤信道(日本生物多様性ネットワーク事務局長)、江幡博(哲学の道保勝会名誉会長)、片方信也(日本福祉大学名誉教授)、田村和之(広島大学名誉教授)、土居靖範(立命館大学名誉教授)、宮本憲一(大阪市立大学・滋賀大学名誉教授)、中林浩(神戸松蔭女学院大学教授)、久山慶子(森林保全活動)、勝山正則(版画家)、斉藤洋(染色家)、守田敏也(フリーライター)、榎田劬(使い捨て時代を考える会)、鎌仲ひとみ(ドキュメンタリー映画監督)、石田紀郎(NPO法人市民環境研究所)、阿部ひろ江(シンガーソングライター)、藤原辰史(京都大学准教授)、本田久美子(京都教育センター事務局長)、伏原のじこ(絵本作家)、須田稔(立命館大学名誉教授)、中島晃(弁護士、京都・まちづくり市民会議) 他

お名前 (name)	ご住所 (address)

署名集約先 〒602-8155京都市上京区竹屋町千本通り東入る主税町829 岡部喜美栄 電話075-841-4075
〒606-0807京都市左京区下鴨泉川町58-22 人見明 電話075-723-1869